

■ 特集 北九州建築紀行

■ 若松港地区

洞海湾の畔にあるかつて石炭の積出港として、賑わった若松の街の面影を残す場所。今も現役の明治・大正期建築が立ち並び、港町若松を象徴するエリアとなっている。



■ 上野ビル

旧三菱合資会社若松支店として、大正 2 (1913) 年に建設された。当時のデザインからは 1 階正面玄関部分の増築、最上階の看板が位置する部分の改造が行われたぐらいで、補修が行われていない壁や窓廻りは当時のままとされている。



建物内部は 2・3 階が吹き抜けの回廊となっており、当時のままの手摺と鉄柱が並んでいる。吹き抜けの光天井にも当時のままのステンドグラスが嵌め込まれている。

建築士会全国大会鹿児島大会に参加しました。せっかく九州まで行きましたので、北九州にある歴史的建築物を廻り、特集として紹介します。紹介する地区は若松港地区と門司港地区です。かつて日本一の石炭積出港として栄えた若松港。1889 年に開港し、北九州最北端に位置する国際貿易港だった門司港。2 つの地区にある歴史的建築物、対照的な保存、活用方法をしている 2 つの地区を紹介します。



■ 旧古河鉱業若松ビル

大正 8 (1919) 年に建設された煉瓦造り 2 階建の建物。全面道路に合わせて、平面が鋭角となり、道路が交差する隅の部分に 3 階建の塔を配置、正面玄関を設け、外観は縦長の窓。均等に配置された付柱で垂直線を強調している。



■ 石炭会館

明治 38 (1905) 年建設の若松地区に現存する最も古い建築で現在も事務所として使用されている。木造 2 階建てで、外装はモルタル塗り、壁面に目地を入れ石造り風の印象を与えている。様式建築の特徴を良く表していて、小さなポーチを持つ玄関が真ん中の位置する左右対称の形をしている。

上野ビル

〒808-0034 福岡県北九州市若松区本町1丁目10-17
Tel. 093-761-4321

旧古河鉱業若松ビル

〒808-0034 福岡県北九州市若松区本町1丁目11-18
Tel. 093-752-3387

石炭会館

〒808-0034 福岡県北九州市若松区本町1丁目13-15